

**2016年度(平成28年度)事業報告書**  
(自2016年4月1日 至 2017年3月31日)

一般財団法人 山縣記念財団

## I 2016年度 決算について

2016年度の経常収益は、基本財産運用益が1,346万円(前年度1,474万円)と前期に比し128万円減少し、受取会費などと合わせ合計2,247万円(前年度2,449万円)と202万円の減収となった。

一方、経常費用は3,892万円(前年度4,006万円)と前期比114万円減少し、評価損益等調整前当期経常増減額は△1,645万円(前年度△1,557万円)となった。

当期末正味財産は、円安・株価上昇による債券時価持直しのため基本財産等の評価損益等が1,750万円(前年度△5,782万円)発生し、5億5,244万円(前年度5億5,139万円)と前期比105万円の増加となった。

また、公益目的支出計画は認可を受けた年間支出金額2,990万円に対し、実績は3,006万円と計画を達成した。

## II 実施事項

### (1) ①学術研究誌『海事交通研究』(年報)第65集発行(継続事業1:普及・啓蒙事業)

合計7件の論文を掲載し2016年12月21日発行、配布した。

### ②高田 富夫著「ロジスティクス管理の方法」(継続事業1:普及・啓蒙事業)

2017年3月31日に発刊、海運・物流関係者などに配布した。

### (2) 2016年山縣勝見賞(継続事業2:表彰事業)

2016年7月22日 海運クラブにて受賞者、関係者を招いて贈呈式を開催した。

受賞著作・論文・受賞者は以下の通り。

- ・著作賞:(株)日本海洋科学著、関根 博 監修『実践航海術』
- ・論文賞:旭 聡史 著「海上物品運送人の定額賠償制度に関する研究」
- ・功労賞:井上欣三氏
- ・特別賞:①長編アニメ映画「氷川丸ものがたり」氷川丸ものがたり製作委員会(代表:伊藤玄二郎)  
②森 隆行 著『神戸港 昭和の記憶 仕事×ひと×街』

### (3) 海事関係団体などへ支援と協力の強化(継続事業3:助成事業)

1. 2016年度助成については、以下の8件に対し助成(合計175万円)を行った。

- 1) 日本海洋少年団連盟:「褒状山縣賞」授与事業(20万円)
- 2) 日本海洋少年団連盟:「我ら海の子展」事業(10万円)
- 3) 日本海洋少年団連盟:カヌー整備事業(30万円)
- 4) 日本海洋少年団連盟:ゴムボート・救命胴衣整備事業(32万円)
- 5) 東京海洋大学 海事普及会:海事普及のための学校等巡回活動事業(28万円)
- 6) 三村治夫:近海航路域内に棲息する外来フジツボ幼生の実態調査(15万円)
- 7) 塩谷茂明:海上交通における海難防止用の操船支援システム「シーナビ」構築の研究(20万円)
- 8) 寺田英子:国際物流拠点の効率化に関する研究(20万円)

尚、岡田 啓 東京都市大学環境学部環境マネジメント学科准教授の“国際海運からの温室効果ガス削減に用いる経済的枠組の比較に関する研究事業”に対する助成金10万円は先方申し出により返金された。

2. 日本海洋少年団連盟主催の第44回「我ら海の子展」の表彰式(2016年8月19日)には小林理事長・郷古常務理事が出席し、「山縣記念財団理事長賞」を贈呈した。

また、2016年度「褒状山縣賞」の表彰式(2017年3月10日)には小林理事長が出席した。

### Ⅲ 登記事項

藤原理事のご逝去(2016年12月22日)により抹消登記の手続きを行った。

### Ⅳ 会議などの実施状況

以下に記載した合計18件の会議・式典などを行った。

#### 1. 理事会・評議員会

No	開催日	場所/会議名	内容
(1)	2016.5.13	eメールにて 臨時理事会	山縣勝見賞選考委員会(2016.4.21開催)の答申を承認、2016年山縣勝見賞受賞者を決定。
(2)	2016.5.26	財団事務所 定時理事会	①2015年度事業報告・決算・公益目的支出計画実施報告を承認。 ②山縣勝見賞選考委員会委員、年報掲載作品編集委員会委員並びに助成審査委員会委員選任案を承認。 ③評議員会(2016.6.10)開催日時・場所・議題について承認。 ④山縣勝見賞(特別賞)賞金額について山縣勝見賞表彰規程にて規定することを承認。 ⑤代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告。 ⑥年報第65集執筆申請受諾状況について報告。
(3)	2016.6.10	財団事務所 定時評議員会	①2015年度事業報告・決算・公益目的支出計画実施報告を承認。 ②評議員選任案を承認。 ③定時理事会(2016.5.26)で山縣勝見賞選考委員会委員、年報掲載作品編集委員会委員並びに助成審査委員会委員選任の旨報告。 ④2016年山縣勝見賞並びに年報第65集寄稿論文について報告。
(4)	2016.11.10	eメールにて 臨時理事会	評議員会(2016.11.17)開催日時・場所・議題について承認。
(5)	2016.11.17	財団事務所 臨時理事会	①事業活動及び収支状況の中間報告並びに公益目的支出計画の進捗状況について報告。 ②代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告。 ③年報第65集掲載論文について報告。 ④年報掲載論文の査読本格導入(2017年度～)について承認。
(6)	2016.11.17	財団事務所 臨時評議員会	①事業活動及び収支状況の中間報告並びに公益目的支出計画の進捗状況について報告。 ②年報掲載論文の査読本格導入(2017年度～)について報告。 ③年報第65集掲載論文について報告。
(7)	2017.1.12	赤坂飯店 臨時理事会	年報掲載論文の査読導入に伴い「査読要領」を制定する件につき承認。

No	開催日	場所	内容
(8)	2017. 3. 16	eメールにて 臨時理事会	助成審査委員会答申を承認。
(9)	2017. 3. 23	eメールにて 臨時理事会	評議員会(2017. 3. 30) 開催日時・場所・議題について承認。
(10)	2017. 3. 30	財団事務所 定時理事会	①2017年度事業計画・予算・公益目的支出計画を承認。 ②基本財産取崩しの件につき承認。
(11)	2017. 3. 30	財団事務所 臨時評議員会	①2017年度事業計画・予算・公益目的支出計画について報告。 ②助成審査委員会答申につき報告。 ③基本財産取崩しの件につき承認。

## 2. 年報掲載作品編集委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2016. 4. 7	財団事務所	①年報執筆申請 12 件並びに事務局提案 2 件、合計 14 件について審議の結果、12 件に対し執筆申請受諾/執筆依頼することを承認。 ②年報第 65 集執筆論文の査読（トライアル）の進め方について承認。 ③その他、年報事業全般について審議。
(2)	2016. 9. 14	財団事務所	①提出論文の一次審査（査読に値するかどうかのチェック）を行い、応募論文 9 件の内、1 件は掲載辞退となり、6 件につき査読後掲載可否を判断することとし、1 件は掲載不可、1 件は類似論文のチェック後判断することとした。 ②二重投稿・剽窃・自己剽窃の定義・禁止理由・抽出方法・規程等への反映方法等につき調査の結果を報告・提案した。年報第 65 集寄稿論文については、二重投稿等の疑われる 1 件が掲載辞退し、1 件につき調査中。又、「査読要領」の文言について審議。 ③来年度以降、(1)年報掲載論文の容量を 10 頁→12 頁にすること、(2)執筆辞退の申し出期限を 6 月末までとすることを承認。
(3)	2016. 9. 23	eメールにて	上記(2)委員会②で保留とした 1 論文につき掲載を見送ることを承認。
(4)	2016. 10. 24	財団事務所	①2016. 10. 19 までに 6 論文査読完了、掲載：3 件、条件付き掲載：2 件 不掲載：1 件となり、審議の結果、不掲載 1 件につき掲載を見送りとする こととした。 ②2016 年度トライアルでの査読導入の成果を踏まえ、2017 年より本格導入することを理事会（2016 年 11 月 17 日）に答申することとした。 ③年報第 66 集（2017 年）の「指定テーマ」を以下に決定。 ・日本にとって海運とは何か ・神戸港・大阪港 開港 150 年 ・海運業界の環境対応

### 3. 山縣勝見賞選考委員会・贈呈式

No	開催日	場所	内容
(1)	2016. 4. 21	財団事務所	2016 年度山縣勝見賞の著作賞・論文賞・功労賞・特別賞(2 件)の受賞候補を選定し、理事会に答申することとした。
(2)	2016. 7. 22	海運クラブ 306 号室	2016 年度山縣勝見賞贈呈式及び昼食会開催。受賞者/関係者 6 名及び財団関係者(役員・選考委員長) 6 名、計 12 名出席。

### 4. 助成審査委員会

No	開催日	場所	内容
(1)	2017. 3. 7	財団事務所	①16 件(14 団体/個人)の助成申請に対し、11 件(9 団体/個人) 210 万円の助成を行うことにつき、理事会に答申することとした。 ②助成案件にも「指定テーマ」を設けることが提案され、引続き検討することとなった。

以上